

岡山県感染症週報 2018年 第14週 (4月2日～4月8日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

◆2018年 第14週 (4/2～4/8) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第12週 2類感染症 結核 1名(80代 女)
5類感染症 百日咳 1名(小学生 男)
- 第13週 2類感染症 結核 2名(幼児 女)
5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1名(70代 男)
- 第14週 2類感染症 結核 5名(乳児 男 1名、70代 女 1名、80代 男 1名、90代 男 2名)
5類感染症 梅毒 1名(高校生 女)

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

- インフルエンザは、県全体で 131 名 (定点あたり 3.63 → 1.56 人) の報告があり、前週より減少しました。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 51 名 (定点あたり 1.06 → 0.94 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 314 名 (定点あたり 5.83 → 5.81 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

1. **インフルエンザ**は、県全体で 131 名 (定点あたり 3.63 → 1.56 人) の報告があり、前週より減少しました。岡山県は、ひきつづき『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、美作地域 (2.10 人)、備北地域 (1.67 人)、岡山市 (1.64 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など詳しくは、「インフルエンザ週報」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2017/2018年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ注意報」発令中!](#)』をご覧ください。
2. **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で 51 名 (定点あたり 1.06 → 0.94 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、岡山市 (1.71 人)、倉敷市 (1.27 人)、美作地域 (1.00 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、就学前から学童期にかけての小児に多い感染症で、学校などで集団感染することもあります。患者との濃厚接触を避け、手洗い・うがいを行うなど、感染予防に努めましょう。
3. **感染性胃腸炎**は、県全体で 314 名 (定点あたり 5.83 → 5.81 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、岡山市 (8.79 人)、備北地域 (7.75 人)、備前地域 (6.40 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↗	★
咽頭結膜熱	↗	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	★
感染性胃腸炎	↗	★★	水痘	↗	★
手足口病	↗	★	伝染性紅斑	↗	★
突発性発疹	↗	★	ヘルパンギーナ	↑	★
流行性耳下腺炎	↗	★	急性出血性結膜炎	↓	
流行性角結膜炎	↓	★	細菌性髄膜炎	↗	
無菌性髄膜炎	↗		マイコプラズマ肺炎	↓	
クラミジア肺炎	↗		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗	

【記号の説明】 前週からの推移： ↑：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↓：大幅な減少 ↘：減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。（発生数が多いことを示すものではありません。）
 空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

注意喚起情報～沖縄県で麻疹感染拡大

※沖縄県で麻疹（はしか）の感染患者が確認されています！

沖縄県では、平成30年3月下旬に海外からの旅行者で麻疹感染が確認されてから、県内の商業施設や空港ターミナル利用者への感染が広がっており、4月11日時点での麻疹感染者数は38名にのぼっています。

今後さらに感染地域が広がる可能性もありますので、麻疹に感染すると重症化しやすい年齢である、小学校入学前までのお子さんについてのMRワクチンの予防接種の状況について、今一度ご確認ください。（この年代では定期接種2回となっていますので、母子手帳を確認の上、接種が行われていない場合は、MRワクチンを接種してください。）

[沖縄県保健医療部地域保健課ホームページ](#)
[麻疹について（厚生労働省）](#)

海外へ渡航される方へ

海外には、通常日本国内に存在しない感染症が多くあります。海外に渡航される場合には、渡航先の感染症への予防対策が必要です。

出発前の注意

- ・ 感染症に対する正しい知識と予防に関する方法を身に付けましょう。
- ・ 渡航先の感染症の発生状況に関する最新の情報や注意事項を確認しましょう。
- ・ これまで受けた予防接種について確認しましょう。予防対策が不十分なものがあれば、予防接種を検討しましょう。

旅行中の注意

- ・ 生水、氷、カットフルーツ、サラダやラクダの乳など、火が通っていないものを食べることは避けましょう。
- ・ 肌の露出を少なくする、虫よけ剤（ディートやイカリジン含有）を使用するなど、蚊やダニに刺されないように注意しましょう。
- ・ 動物には、むやみに近づいたり、触らないようにしましょう。
（狂犬病、中東呼吸器症候群（MERS）や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。）
- ・ 外出後は、しっかり手洗いをしましょう。

帰国した後に

- ・ 帰国時に発熱や下痢などの症状がある方は、空港または海港の検疫所に相談してください。
- ・ 帰国時に症状がなくても、その後体調が悪くなったときは、早めに医療機関を受診し、その際は必ず渡航先も伝えてください。

海外へ渡航される方に向けた詳細な感染症情報が厚生労働省のホームページに掲載されています。

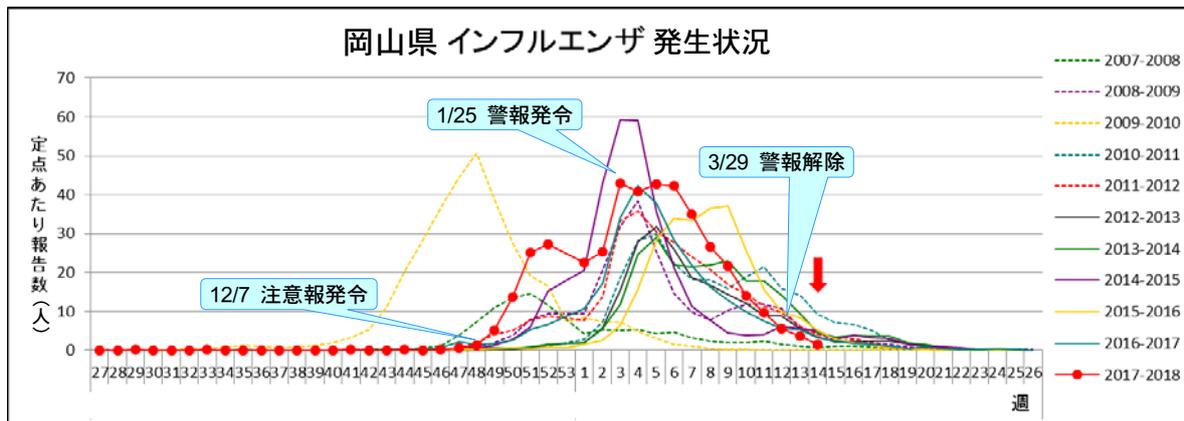
[ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について（厚生労働省）](#)

インフルエンザ週報 2018年 第14週 (4月2日～4月8日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で131名（定点あたり1.56人）の報告がありました。（84 定点医療機関報告）
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者3名の報告がありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で131名（定点あたり3.63 → 1.56人）の報告があり、前週より減少しました。岡山県は、ひきつづき『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、美作地域（2.10人）、備北地域（1.67人）、岡山市（1.64人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、ほとんどの地域で患者が減少しています。

流行のピークは過ぎ、患者は減少してきていますが、『外出後や食事前の手洗いを徹底する』、『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』、『十分な睡眠をとる』など、ひきつづき感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

**◆インフルエンザは、まだ流行がつづいています。
ひきつづき感染予防に努めましょう。**

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度（50～60％）を保ちましょう。

【 かかったかな? という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- * 周りの人にうつさないように、[『咳エチケット』](#)を心がけましょう。

1. 地域別発生状況
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	131	↓	備 中	患者数	18	↓
	定点あたり	1.56			定点あたり	1.50	
岡山市	患者数	36	↘	備 北	患者数	10	↓
	定点あたり	1.64			定点あたり	1.67	
倉敷市	患者数	21	↓	真 庭	患者数	3	↓
	定点あたり	1.31			定点あたり	1.00	
備 前	患者数	22	↗	美 作	患者数	21	↓
	定点あたり	1.47			定点あたり	2.10	

【記号の説明】 前週からの推移
 ↑：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↓：大幅な減少 ↘：減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10~100%未満の増減

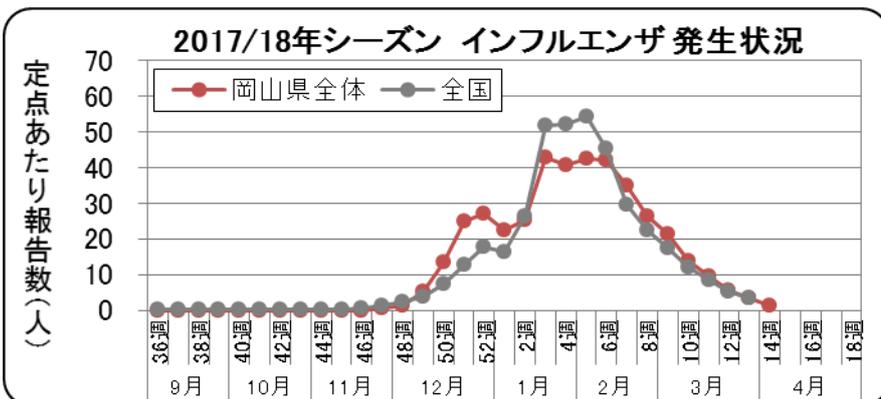
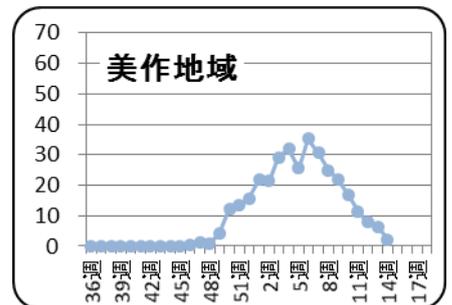
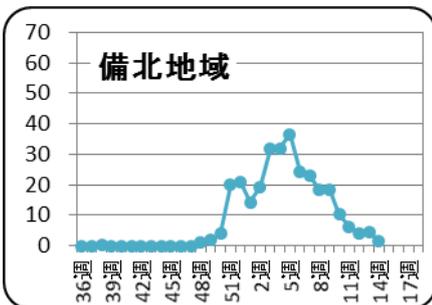
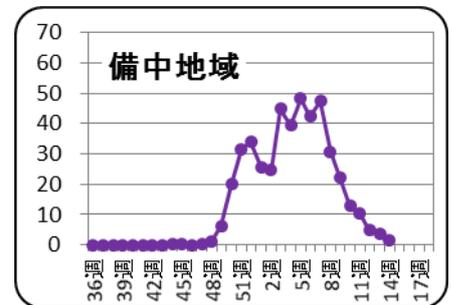
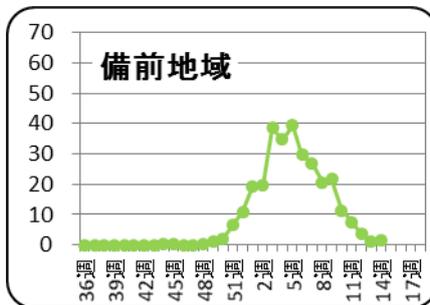
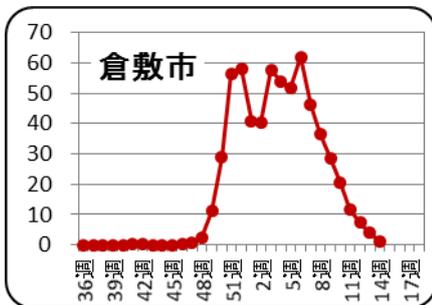
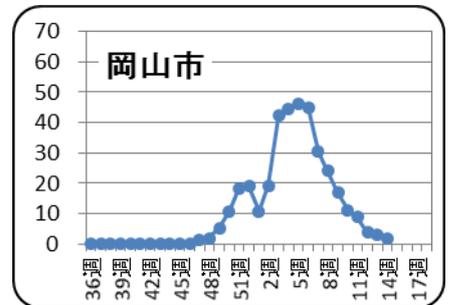
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0< 10未満	0

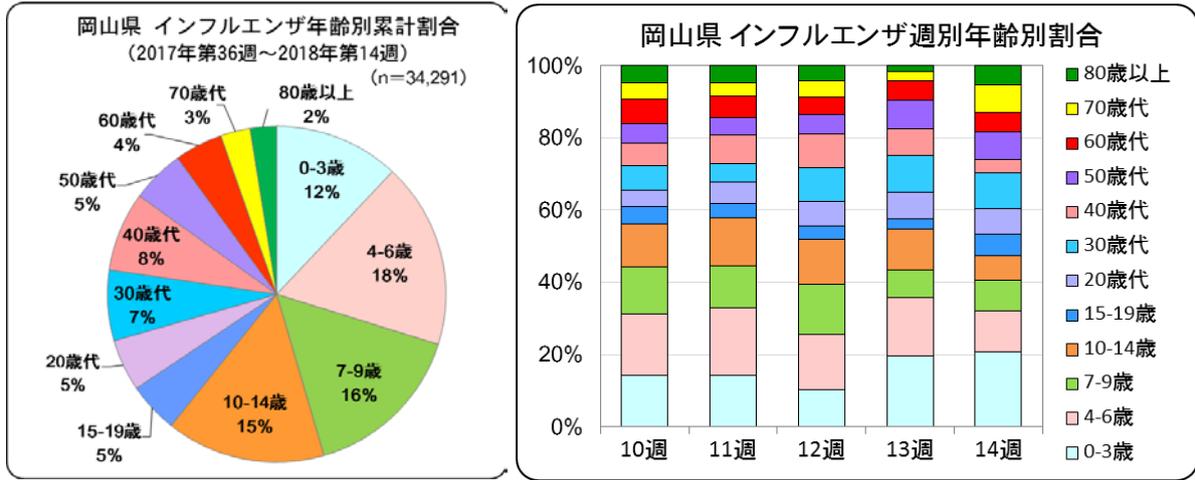


全国集計第13週(3/26~4/1)速報値によると、全国の定点あたり報告数は3.39人となり、前週(5.35人)より減少しました。都道府県別では、新潟県(12.90人)、秋田県(10.74人)、山形県(10.13人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、全47都道府県で前週の報告数よりも減少しました。

[インフルエンザの発生状況について](#)
(厚生労働省)

2. 年齢別発生状況

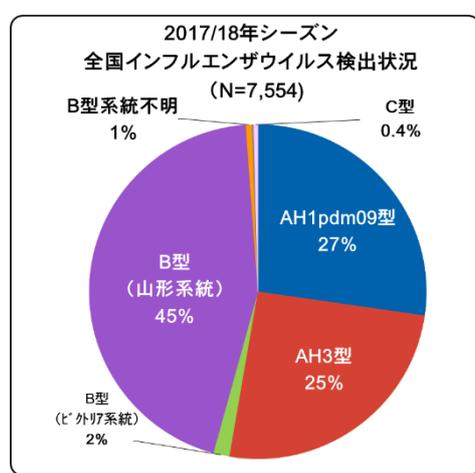
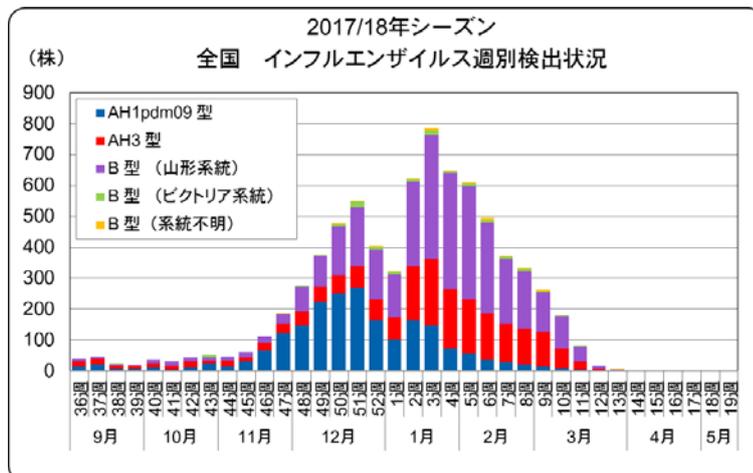
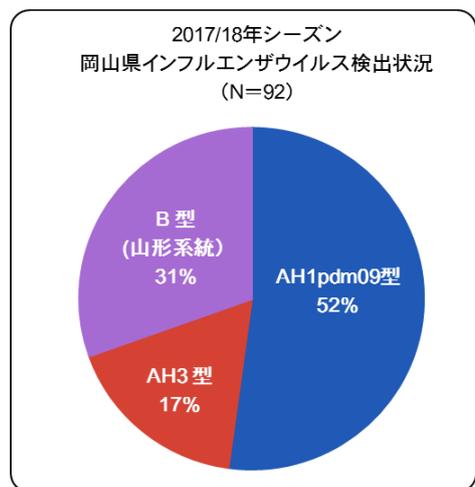
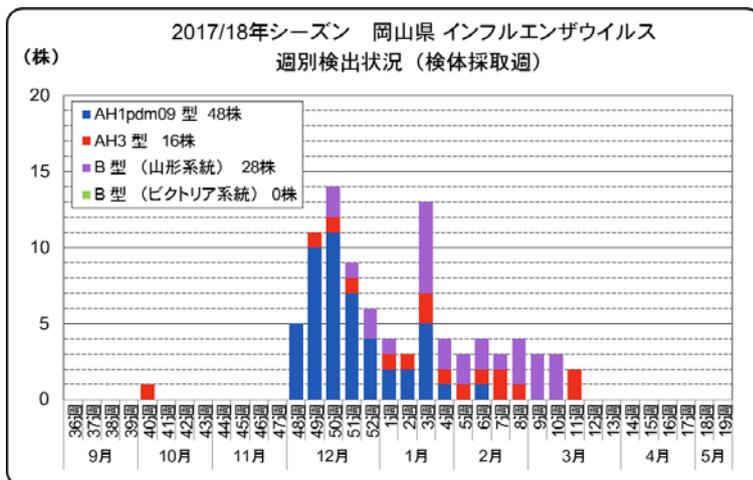
今シーズンの年齢別累計割合は、4-6歳 18%、7-9歳 16%、10-14歳 15%の順で高くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

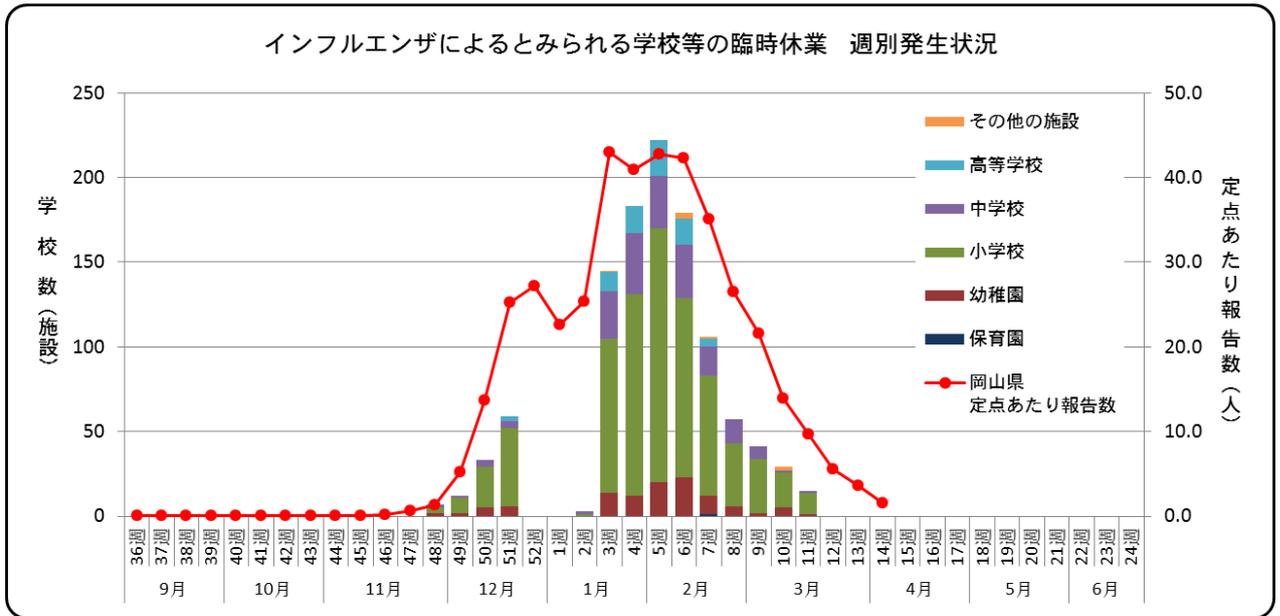
第14週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは92株で、その内訳は、AH1pdm09型 48株(52%)、AH3型 16株(17%)、B型(山形系統) 28株(31%)となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 27%、AH3型 25%、B型 48%〔山形系統 45%・ビクトリア系統 2%・系統不明 1%〕となっています。今シーズン初めから多数検出されていたAH1pdm09型は、第52週(12/25～12/31)以降減少傾向にあります。代わってAH3型とB型(山形系統)の検出が増加しています。(4月10日現在)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	15522	0	12396	0	1091	0	20	0	251	0	820	H29.11.27
岡山市	0	6058	0	4677	0	394	0	2	0	41	0	351	H29.11.27
倉敷市	0	3463	0	2856	0	231	0	2	0	24	0	205	H29.11.27
備前地域	0	1569	0	1360	0	138	0	3	0	57	0	78	H29.12.13
備中地域	0	2254	0	1844	0	173	0	2	0	46	0	125	H29.12.5
備北地域	0	357	0	276	0	30	—	—	0	14	0	16	H29.12.4
真庭地域	0	280	0	237	0	25	0	3	0	16	0	6	H29.12.18
美作地域	0	1541	0	1146	0	100	0	8	0	53	0	39	H29.12.4

2) 臨時休業施設数の内訳

第14週：0施設

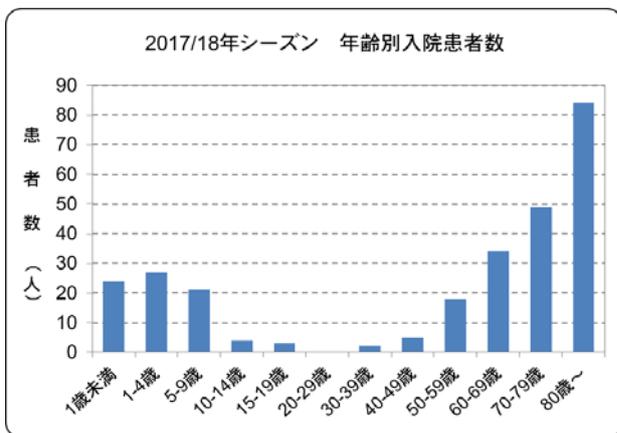
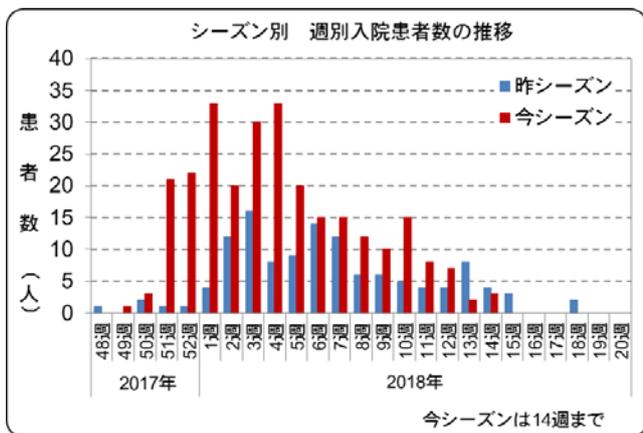
累計：1091施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	1	0	109	0	723	0	179	0	72	0	7

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、3名（60～69歳 1名、70～79歳 1名、80歳以上 1名）の報告がありました。今シーズンの入院患者は、昨シーズンよりも多い状況です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 14 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数										1	1	1	3
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*											1	1	2
頭部MRI検査(予定含)*												1	1
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず										1			1

* 重複あり

【2017年9月4日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	24	27	21	4	3		2	5	18	34	49	84	271
ICU入室*		1							1	3	9	4	18
人工呼吸器の利用*												1	1
頭部CT検査(予定含)*	1	3	3	2			1			5	6	19	40
頭部MRI検査(予定含)*	1	5	5	1			1			2	1	5	21
脳波検査(予定含)*		6	2										8
いずれにも該当せず	22	17	13	2	3		1	5	17	27	34	63	204

* 重複あり

保健所別報告患者数 2018年 14週(定点把握)

(2018/04/02~2018/04/08)

2018年4月12日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	131	1.56	36	1.64	21	1.31	22	1.47	18	1.50	10	1.67	3	1.00	21	2.10
RSウイルス感染症	3	0.06	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	7	0.13	5	0.36	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	0.94	24	1.71	14	1.27	4	0.40	1	0.14	1	0.25	1	0.50	6	1.00
感染性胃腸炎	314	5.81	123	8.79	48	4.36	64	6.40	14	2.00	31	7.75	6	3.00	28	4.67
水痘	28	0.52	13	0.93	11	1.00	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	-	-
手足口病	4	0.07	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	3	0.06	3	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	14	0.26	9	0.64	1	0.09	1	0.10	-	-	2	0.50	-	-	1	0.17
ヘルパンギーナ	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	0.07	2	0.14	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	1	0.20	2	0.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2018年 14週(発生レベル設定疾患)

(2018/04/02～2018/04/08)

2018年4月12日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	131	1.56	36	1.64	21	1.31	22	1.47	18	1.50	10	1.67	3	1.00	21	2.10
咽頭結膜熱	7	0.13	5	0.36	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	0.94	24	1.71	14	1.27	4	0.40	1	0.14	1	0.25	1	0.50	6	1.00
感染性胃腸炎	314	5.81	123	8.79	48	4.36	64	6.40	14	2.00	31	7.75	6	3.00	28	4.67
水痘	28	0.52	13	0.93	11	1.00	2	0.20	2	0.29	-	-	-	-	-	-
手足口病	4	0.07	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	3	0.06	3	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	2	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	0.07	2	0.14	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	1	0.20	2	0.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2018年 第14週 2018/04/02~2018/04/08)

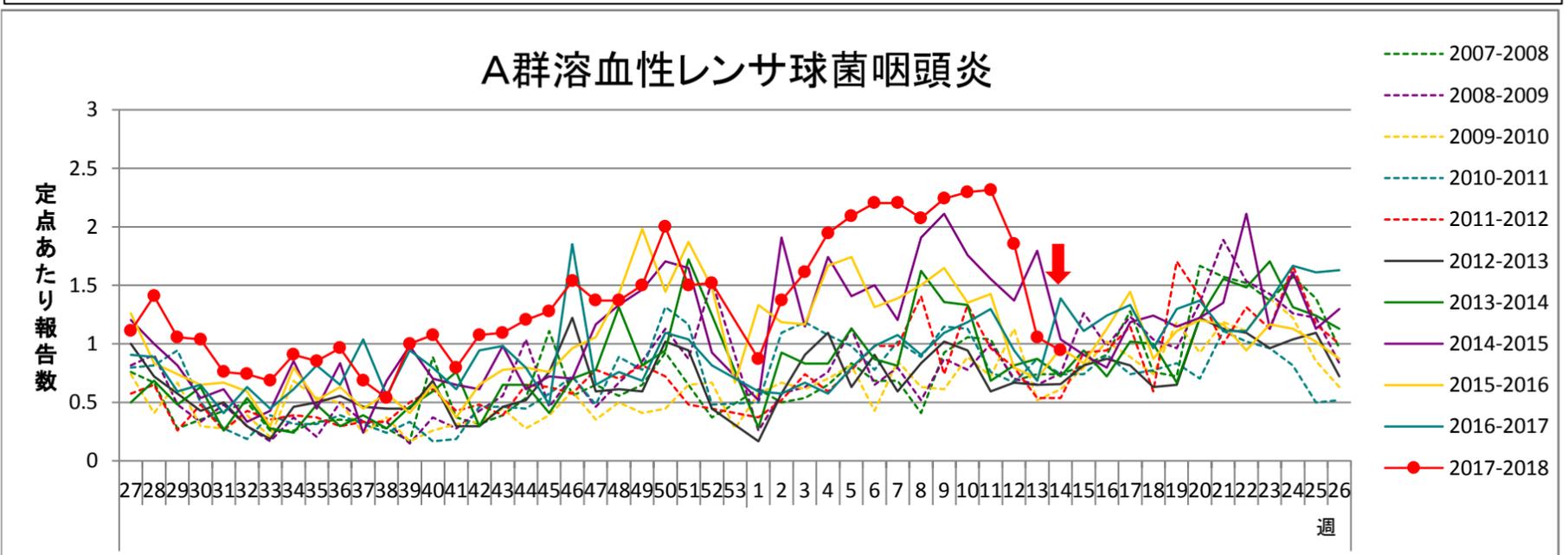
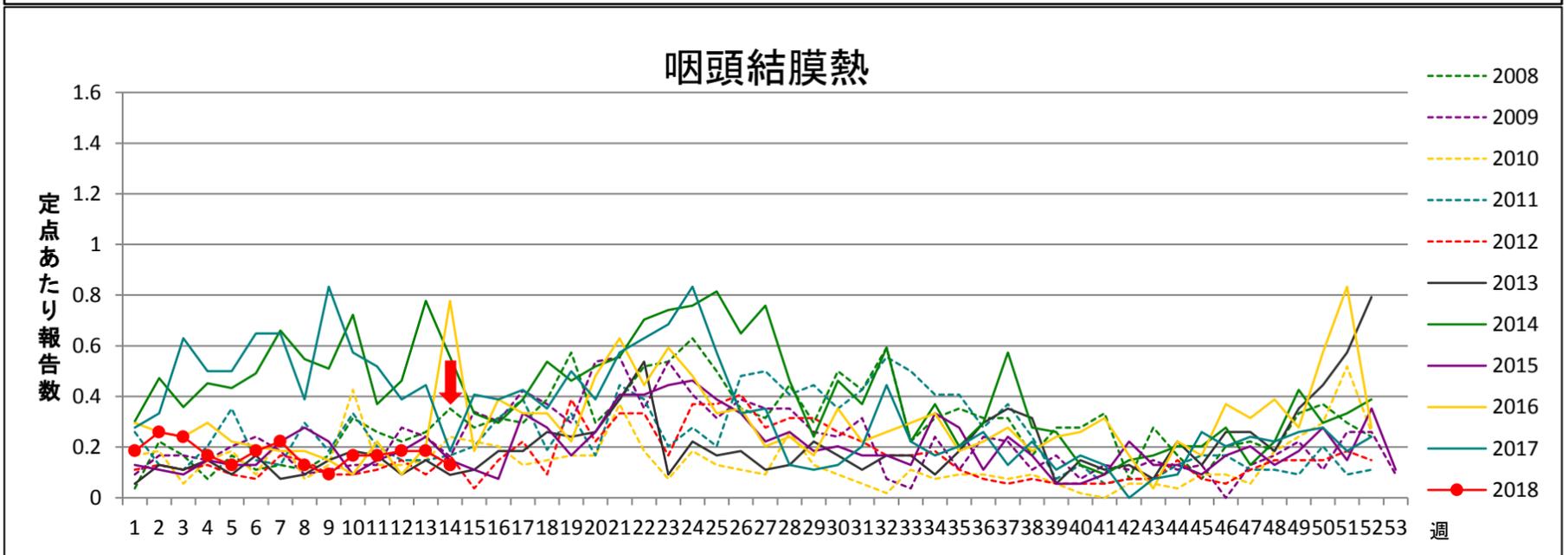
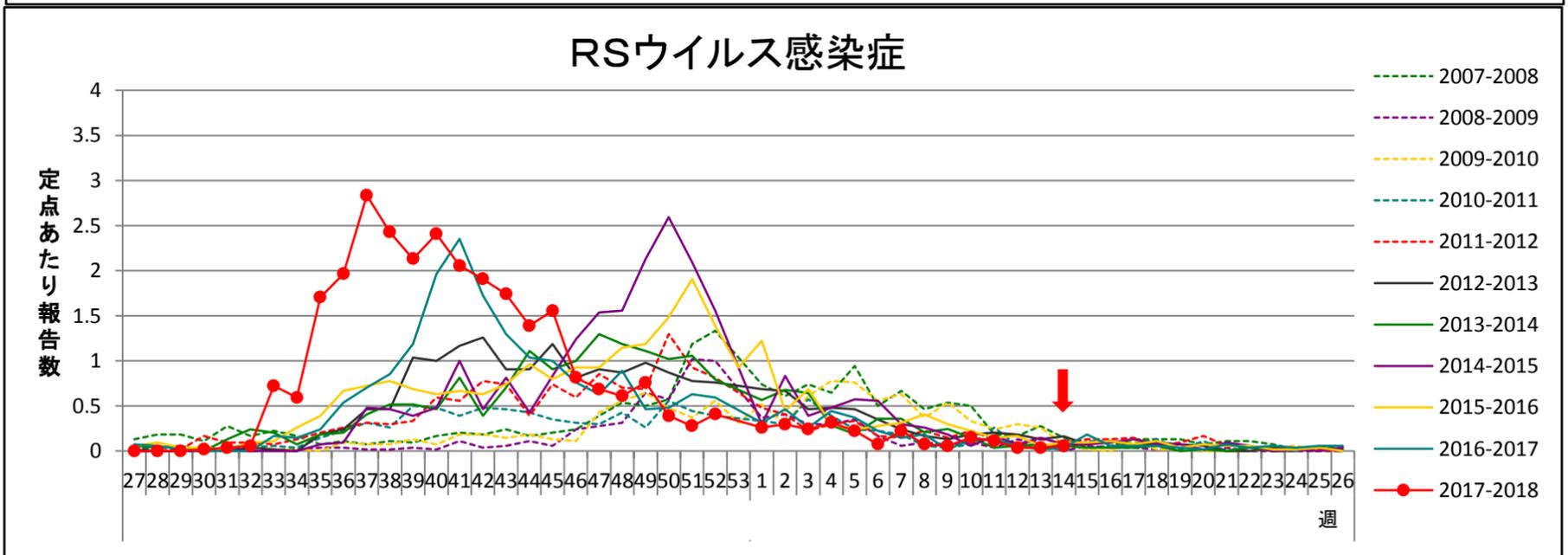
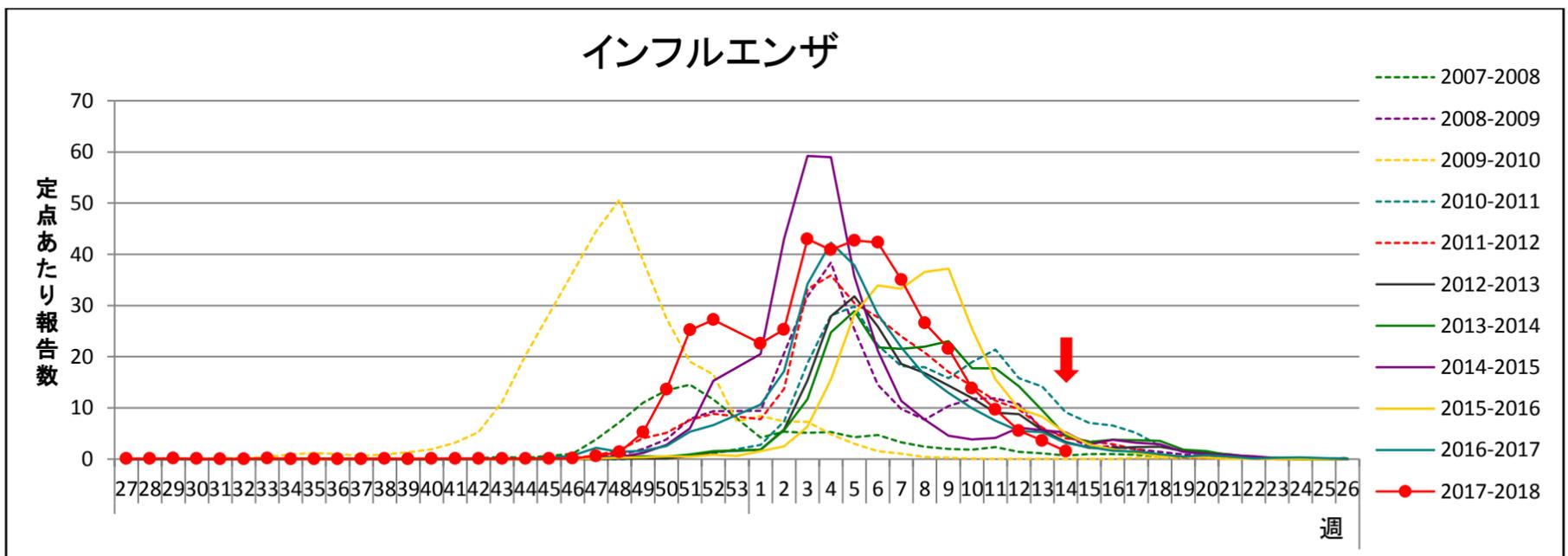
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	131	-	5	6	6	10	6	5	4	3	5	3	9	8	9	13	5	10	7	10	7

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	7	1	1	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	2	1	1	-	6	8	4	6	4	2	1	11	1	4
感染性胃腸炎	314	3	14	48	28	30	24	32	27	9	12	10	22	5	50
水痘	28	-	1	3	1	4	3	3	7	2	2	-	2	-	-
手足口病	4	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	14	-	8	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-

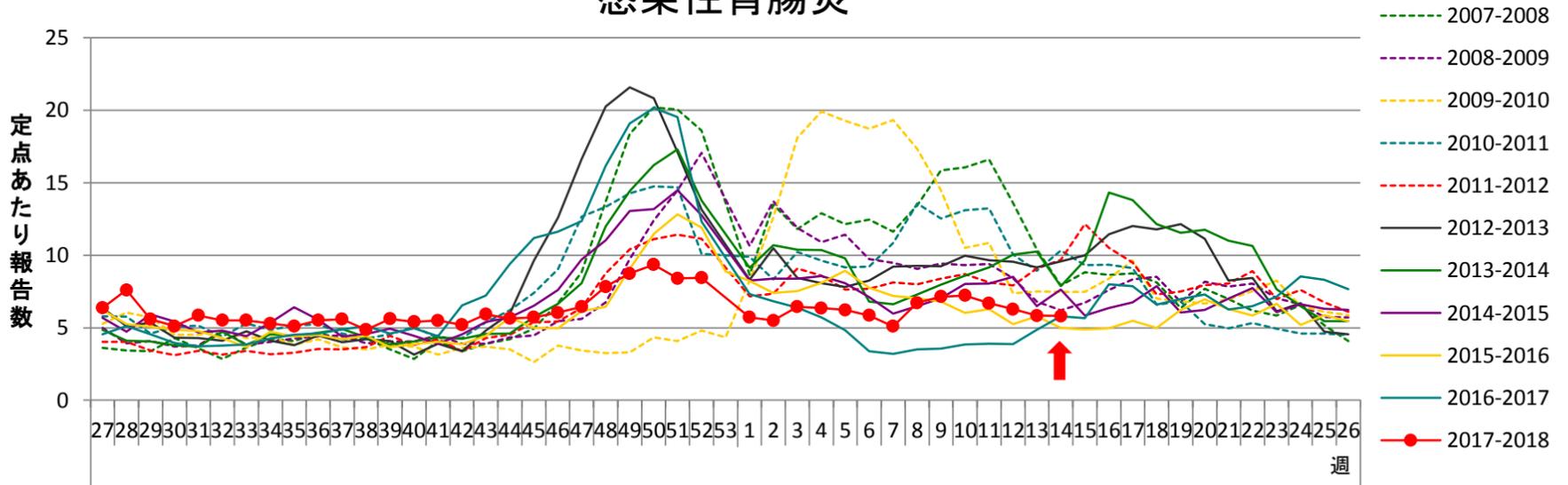
疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

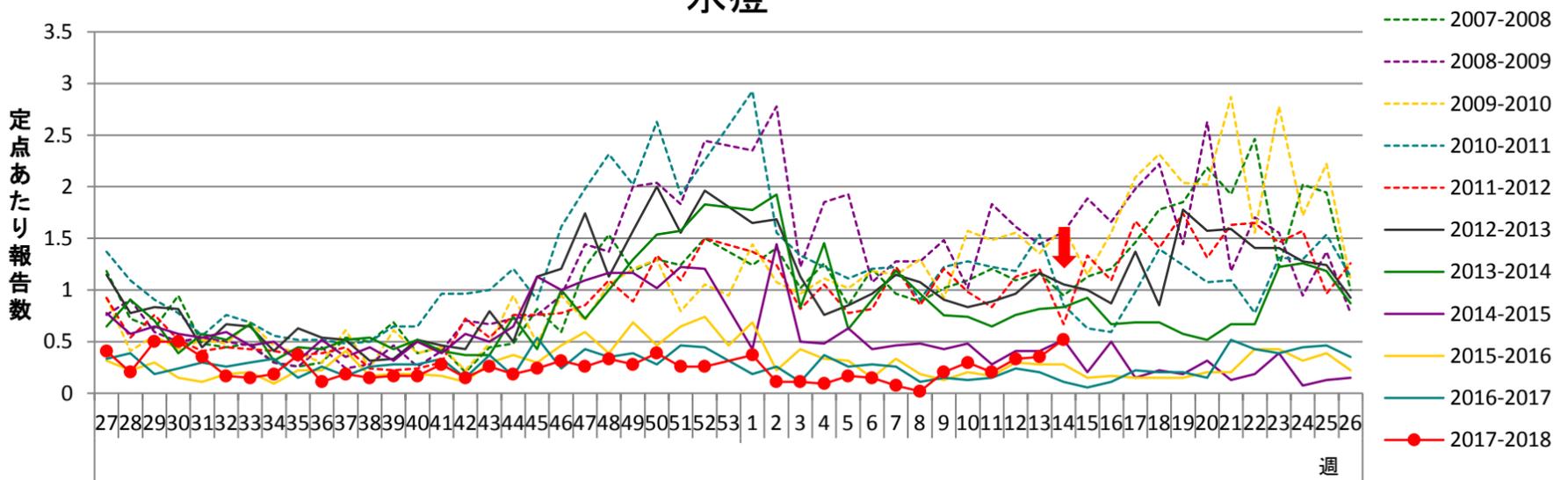
(- : 0)



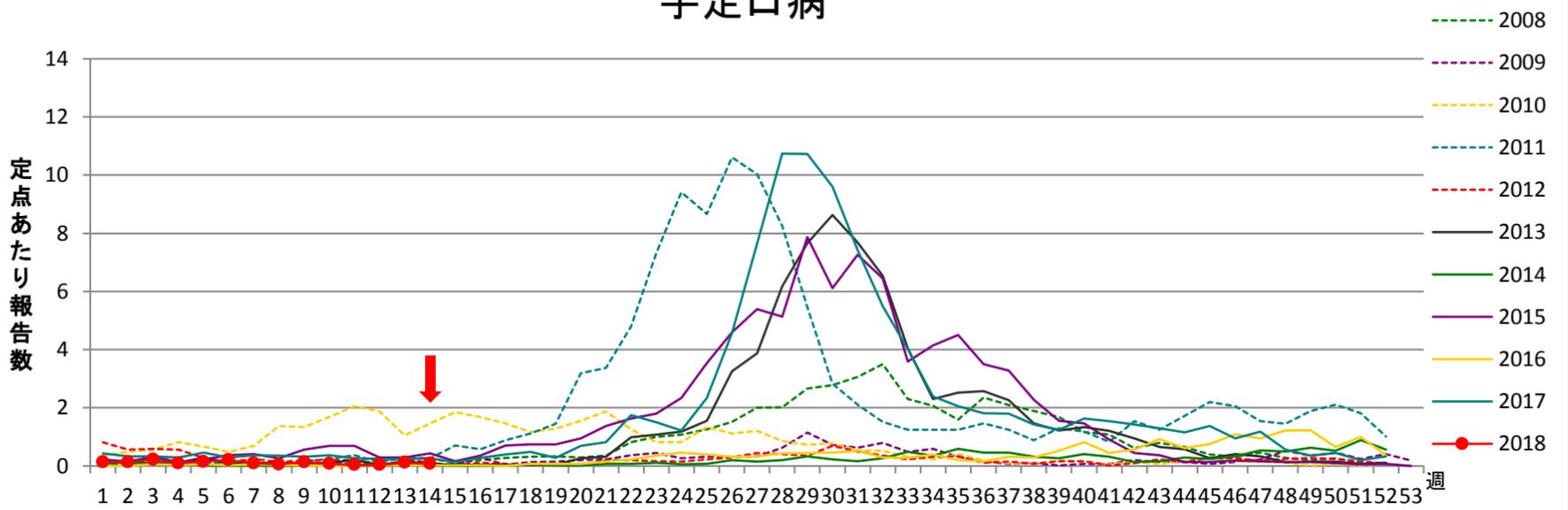
感染性胃腸炎



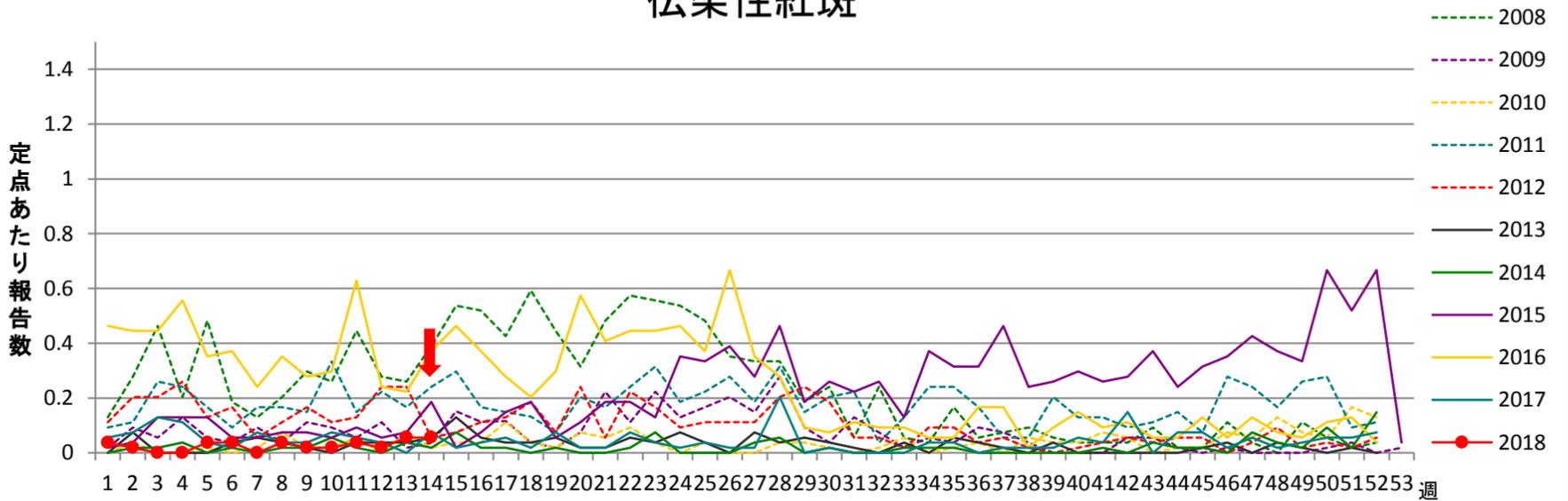
水痘



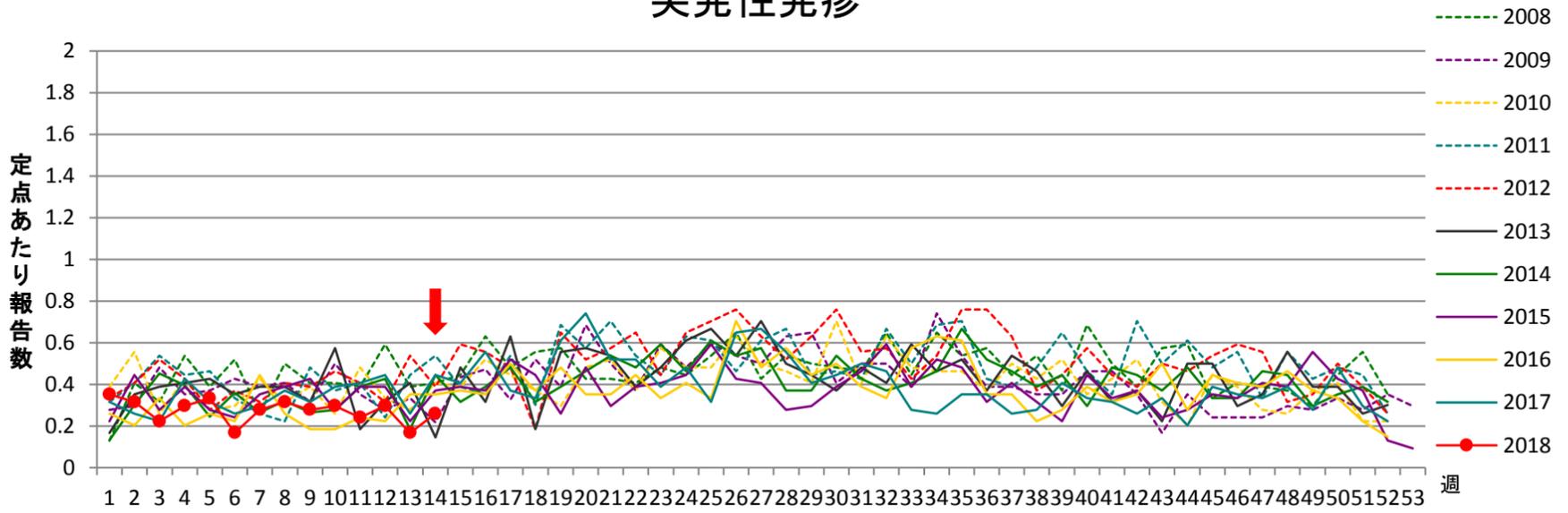
手足口病



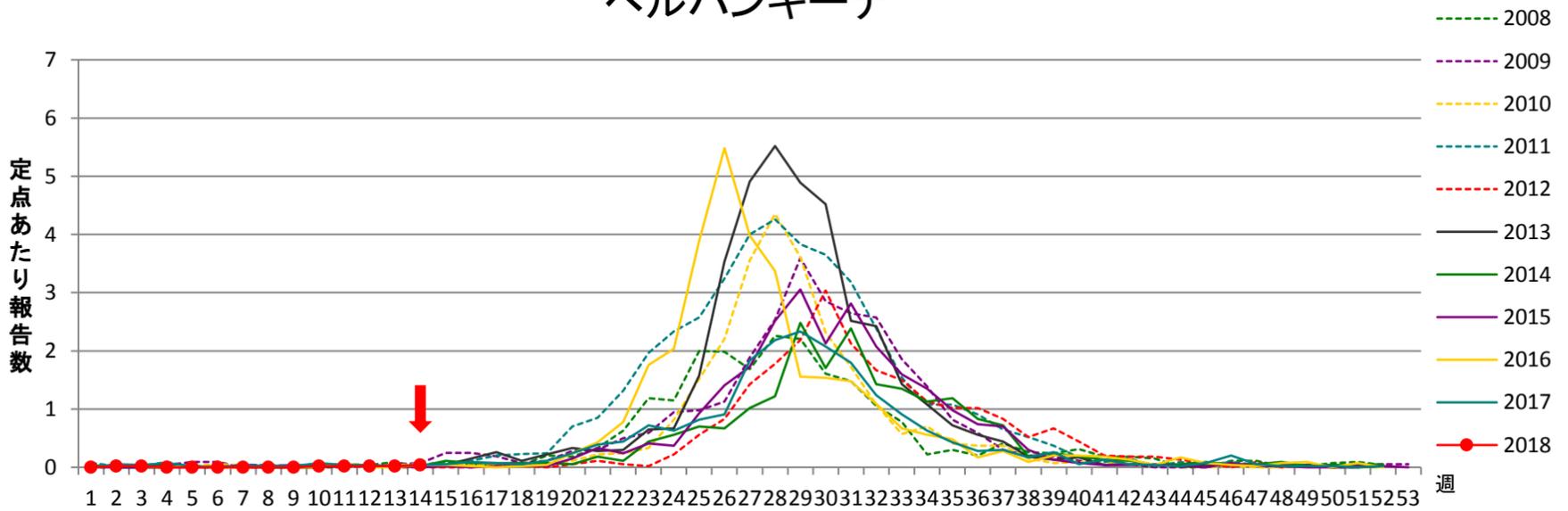
伝染性紅斑



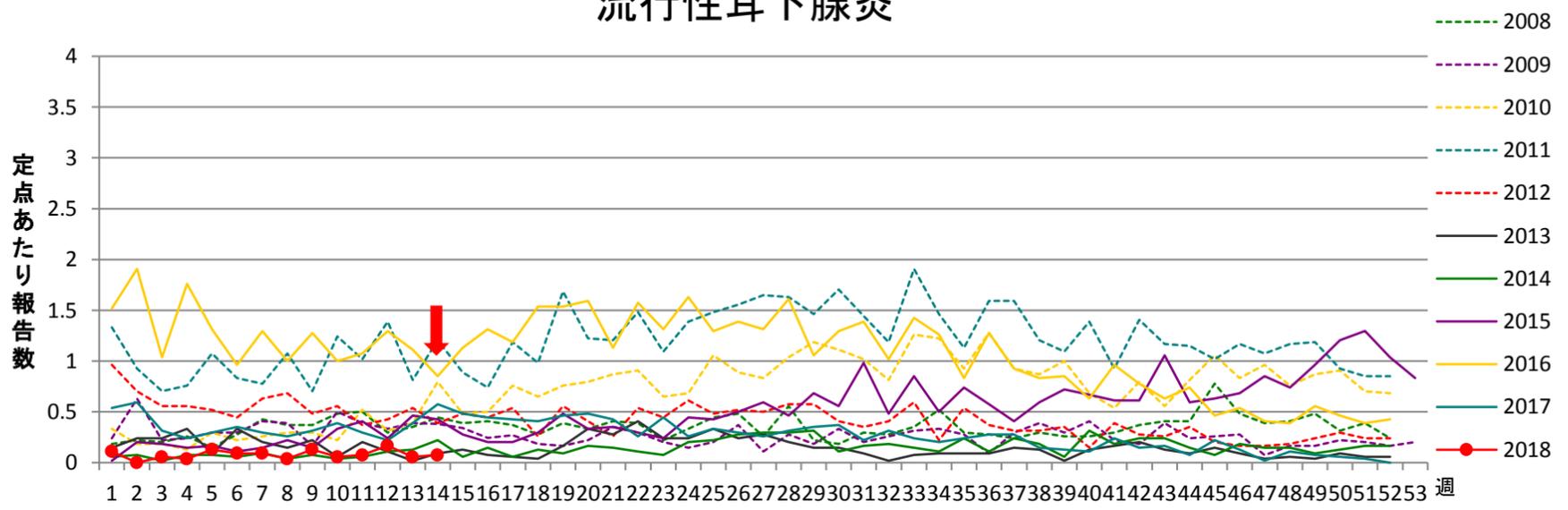
突発性発疹



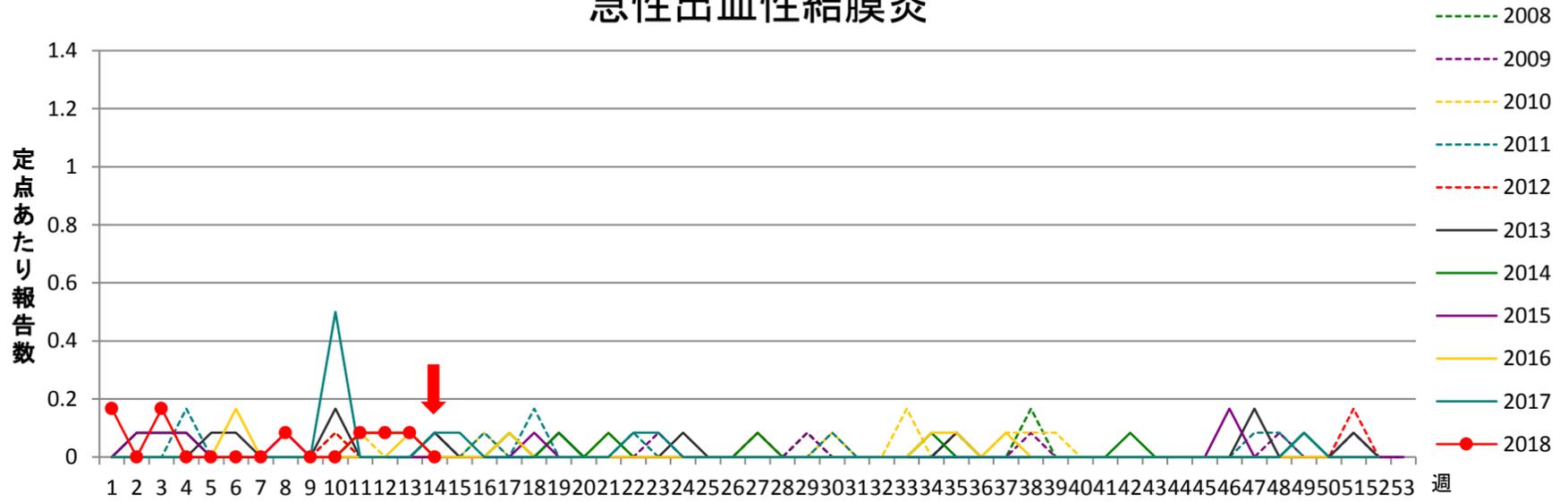
ヘルパンギーナ



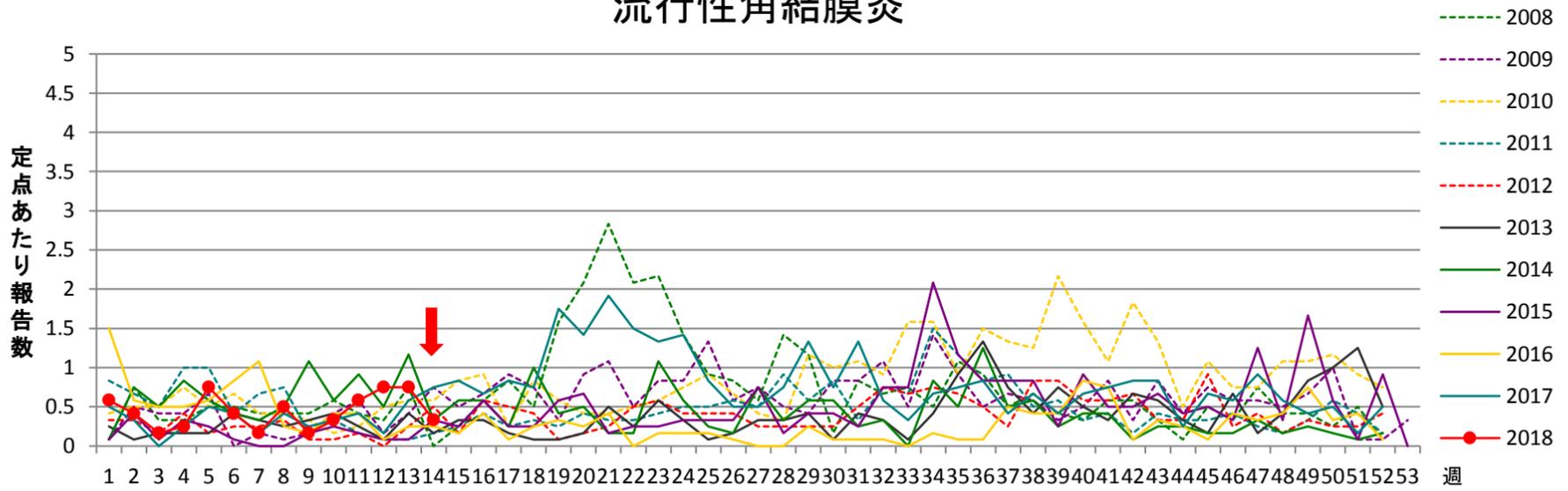
流行性耳下腺炎



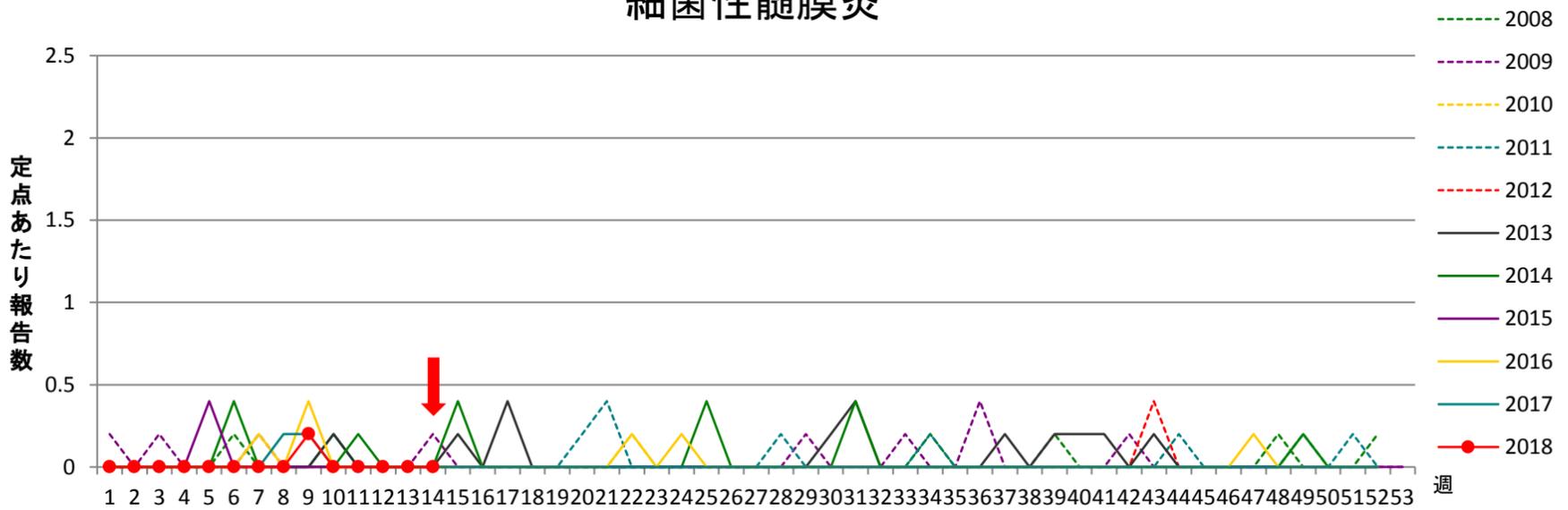
急性出血性結膜炎



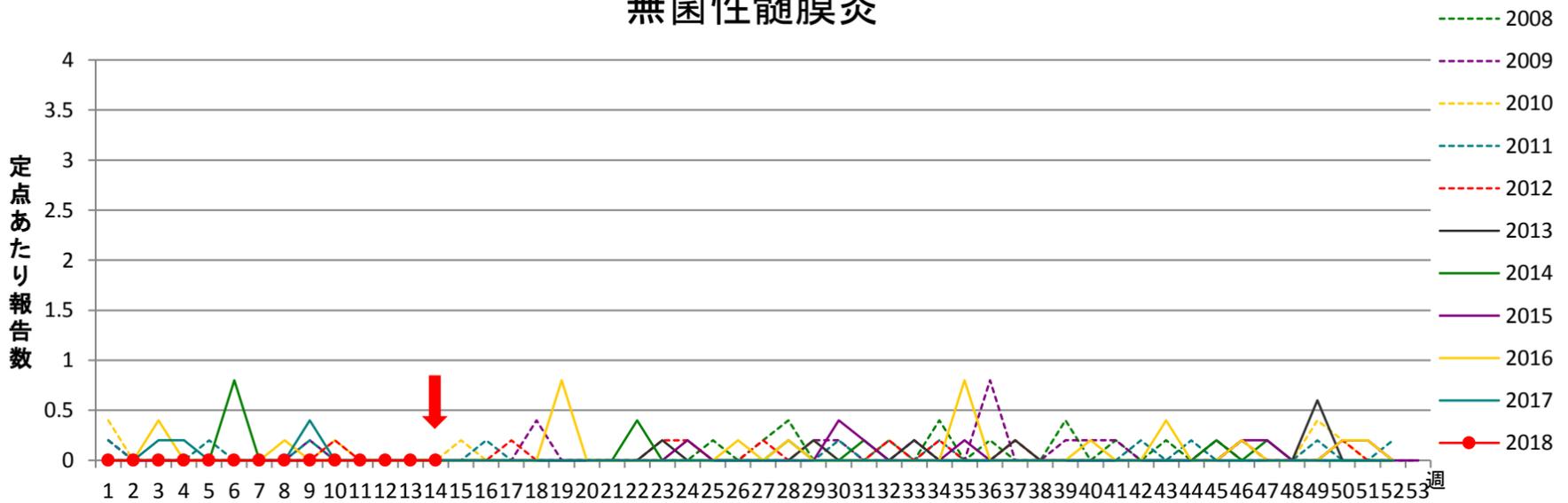
流行性角結膜炎



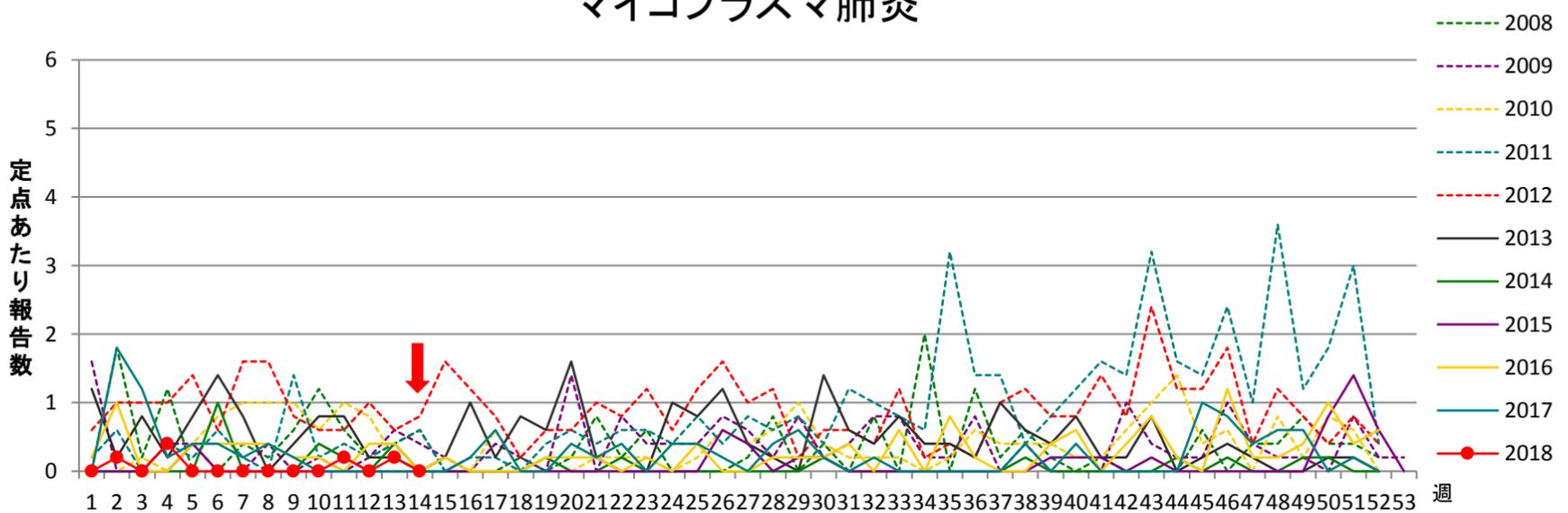
細菌性髄膜炎



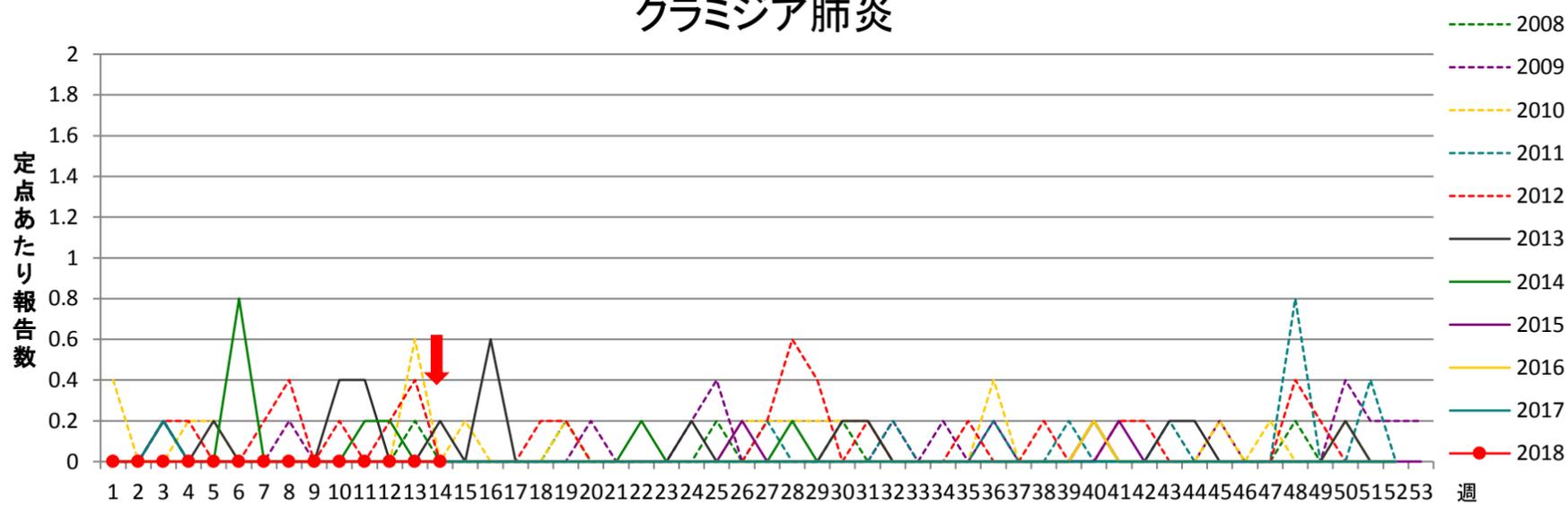
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

